

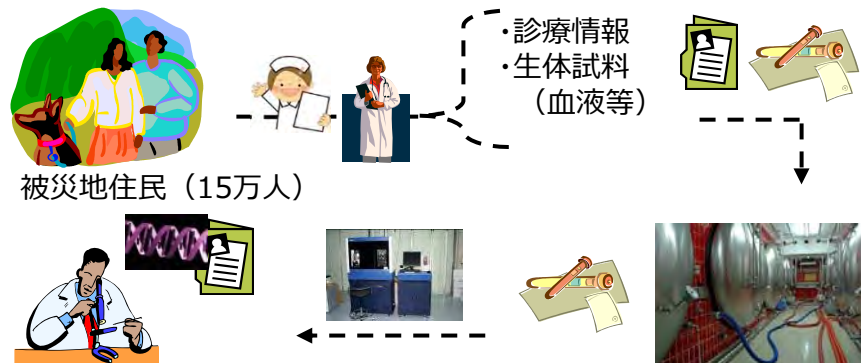
第1節 V. 東日本大震災からの早期の復興再生

課題

- 震災から早期に復興し、国民の生活や産業を再生させることは喫緊の重要課題
- 震災の教訓を生かした更なる発展の機会となるよう科学技術イノベーションを積極投入

重点的取組例

地域医療への貢献と次世代医療の実現



被災地住民（15万人）

宮城県及び岩手県を中心とした被災地の住民を対象として健康調査を実施するとともに、協力者の生体試料、健康情報、診療情報等を収集して15万人規模のバイオバンクを構築し、ゲノム情報等と併せて解析することにより、東北発の個別化予防等の基盤を形成し、創薬等の新たな産業の創出を目指す。

子どもや高齢者が
元気な社会

復興再生をさらに加速化
成果や活用事例を世界へ積極的に発信

再生可能エネルギー産業の発展を支援



福島再生可能エネルギー研究所
「世界に開かれた再生可能エネルギーの研究開発の推進」と「新しい産業の集積を通じた復興への貢献」を大きな使命とし、国内外から集う様々な人々と共に、再生可能エネルギーに関する新技術を生み出し発信する。

先進的で持続可能な
エネルギー社会の実現